

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-224292

(P2001-224292A)

(43) 公開日 平成13年8月21日 (2001.8.21)

(51) Int.Cl.⁷

A 0 1 K 97/04

97/10

識別記号

F I

A 0 1 K 97/04

97/10

キーワード(参考)

Z 2 B 1 0 9

C

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願2000-39410(P2000-39410)

(22) 出願日

平成12年2月17日 (2000.2.17)

(71) 出願人 500067178

吉田 正男

東京都日野市東豊田4-32-5

(72) 発明者 吉田 正男

東京都日野市東豊田4-32-5

(74) 代理人 100082304

弁理士 竹本 松司 (外5名)

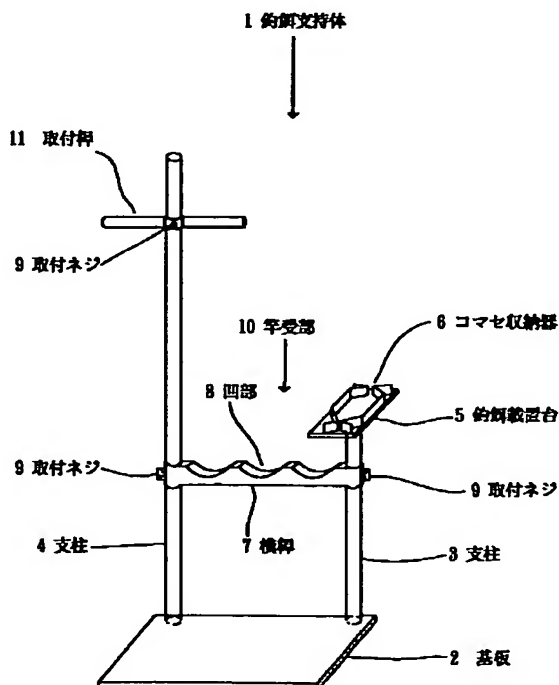
Fターム(参考) 2B109 CA47

(54) 【発明の名称】 釣餌支持装置

(57) 【要約】

【課題】 釣餌支持体と容器とをコンパクトにまとめて安定した状態で釣り場に設置でき、且つ釣餌の加工や釣針への餌付けを足腰に負担をかけずに確実に行うことができ釣餌支持装置を提供すること。

【解決手段】 基板2の表面から支柱3を立設し、該支柱3の上端部に釣餌の加工や釣針への餌付け等を行うための釣餌載置台6を設けた釣餌支持体1と、基板2上面に載置可能な容器とからなる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 基板表面から支柱を立設し、該支柱の上端部に釣餌支持体と、この釣餌支持体の基板上面に載置可能な容器とからなる釣餌支持装置。

【請求項2】 該容器の一側面に釣竿の基端部が挿脱可能な通孔を形成した請求項1に記載の釣餌支持装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、釣餌支持体と容器とをコンパクトにまとめて安定した状態で釣り場に設置でき、且つ釣餌の加工や釣針への餌付けを足腰に負担をかけずに確実に行うことができる釣餌支持装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、磯釣り、投げ釣り、堤防釣り等の各種釣りでは、釣餌は収納容器に入れられて直接釣り場の地面に置かれることが多く、このため、釣餌を適宜の大きさに加工したり、あるいは釣針に釣餌を付けるたびに、腰をかかめたり座ったりしなくてはならず足腰にかかる負担が大きかった。

【0003】特に、サビキ釣りでは、数多くのサビキ針への釣餌の取り付けは、地面に置かれたコマセ収納器の中でサビキ針を左右に動かして行うため、釣糸を引き上げるたびに、腰をかかめられた状態で両手を左右に動かす動作を繰り返さなくてはならず、釣り人の足腰に加わる負担が著しかった。また、コマセを収納しているコマセ収納器には、これを地面に固定する手段がないため、波により該収納器が流されてしまったり、誤ってこれを飛ばし収納されているコマセが釣り場に散乱することもあった。

【0004】このため、このような問題を解決するため、釣餌を載置、加工する釣餌切り板を支柱の上部に組立自在に取り付け、釣り場では、該支柱を釣り場の地面に挿入して起立させると共に餌切り板を水平状に組み立てる磯釣り折りたたみ用餌切り台が開発されている(特開昭59-91827号公報)。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかし、この餌切り台は、餌切り板を支持する支柱は、釣り場の地面に差し込む構成であるため、堤防や磯場などの岩盤やセメントなどの強固な釣り場では使用することができず、また該支柱が差し込み可能な砂浜、川岸等で使用しても、餌切り板を支持する支柱が一本であるため極めて不安定であり、且つ餌切り板は該支柱に対して片持ち支持の構成であるため、支柱の不安定さと相俟って該餌切り板で釣餌を調製、加工すると餌切り台自体が傾むくという問題があった。

【0006】また、該餌切り台には、釣竿を支持する釣竿支持具や釣餌の加工作業で汚れた手を洗う手洗い用の水収納器、釣り場を照明したり、集魚するための照明装

置が設けられていないため、該餌切り台とは別にこれら用具を近傍に配置しなくてはならず、このため、釣り場に占める釣り用具の部品数が多くなり、かえって釣りの邪魔になったり、釣りを開始するまでの準備作業や釣り終了時の後かたづけ作業が長くなるという問題もあった。

【0007】

【課題を解決するための手段】そこで本発明は、従来の餌切り台が有する上記のような問題を解決し、釣り場が、岩盤やセメント、砂浜等で構成されていても釣餌支持体と容器とをコンパクトにまとめて安定した状態で釣り場に設置でき、且つ釣餌の加工や釣針への餌付けを足腰に負担をかけずに確実に行うことができる釣餌支持装置を提供することにある。具体的に述べると、本発明の釣餌支持装置は、基板表面から支柱を立設し、該支柱の上端部に釣餌支持体と、この釣餌支持体の基板上面に載置可能な容器とからなることを特徴とする。

【0008】ここで、釣餌支持体の基板は、その表面に鍾となる容器を載置することにより、釣餌支持装置を安定した状態で起立させるための物であり、材質や大きさには格別の限定はないが、持ち運びの便宜性や洗浄の容易性等を考慮すると軽量のプラスチック製が好ましい。

【0009】基板上面から立設する支柱は、プラスチック製の断面が円形状のものであり、支柱の上端部に配置する釣餌載置台の高さは、釣餌の加工や釣針への餌付け等の作業を、腰をかかめることなくできる高さで有れば良く、また、支柱を2本設ける場合、他方の支柱の高さは、釣り場や漁場を上方より照明する照明装置を配置するため、釣餌載置台の高さより高くする。

【0010】釣餌載置台はプラスチック製であっても木製であっても構わない。該載置台は、釣餌を加工したり、釣針に餌付けをするために用いる部材である。例えば、サビキ釣りにおいては、コマセを収納するコマセ収納器を配置する。また投げ釣り等においては、ゴカイ、ジャリメ等の釣餌類を、該釣餌載置台の上面に直接あるいは容器に収納して配置する。釣餌として切り身を使用する場合は、適宜大きさに切斷加工する加工台として利用する。

【0011】支柱を2本立設する場合、支柱間を連結する横桿は、プラスチック製の部材でありその上面に設けられた竿受部で、釣竿の基端部、即ち把持部の先端側を支持すると共に、両支柱を安定した状態で起立させる作用を奏するようにするとよい。竿受部としては、各種の構成を考え得るが、載置した釣竿が横桿に沿って横方向に移動できない凹状の構造であれば良い。

【0012】容器は、該釣餌支持体の基板の上面に載置できる物であれば何を用いても構わないが、釣り場で調達できる物が便利である。この容器を釣餌支持体の該基板の上面に載置し、内部に鍾となる重量物、例えば、海水、砂、小石等を収納すると、これら重量物を安定した

状態で該基板の上面に設置できる。特に、海水や川水等を鍾として収納すると、これら水を手洗い用の洗い水として、また釣り魚を生かして置く生け簀水、更には冷凍コマセの解凍用水としても適宜利用できる。

【0013】該釣餌支持体の基板の上面に、鍾となる重量物を収納した容器を載置することにより、釣餌支持体をその重量により安定した状態に設置できる。また該収納部は、釣り場に到達するまでは、各種の釣り用具を収納して携帯する容器としても使用できる。

【0014】容器内部に鍾となる重量物を収納した状態で、釣餌支持体の基板の表面に載置し、容器の一側面に形成した通孔に、釣竿の基端部、即ち握柄部を収納部の内側から挿入し、該通孔に挿入された釣竿の基端部の先端側を容器他端上縁の竿受部に載置する。この構成により、釣竿には竿受部を支点として、竿受部より先端側には釣竿を下げる力が、竿受部より基端部側は釣竿を上げる力が生じるため、釣竿の基端部は通孔の内面と強固に係合する。このため、釣竿が軸方向にずれるのを防止すると共に釣糸が魚や風により引っ張られても釣竿は釣竿支持具から外れない。

【0015】容器の側面に形成する通孔は、釣竿の基端部を収納部の内側から挿入可能な大きさに形成する。投げ釣り、磯釣り、堤防釣り等の各種釣り目的に応じた太さの釣竿を支持可能にするため、及び複数の釣竿の基端部を同時に支持できるようにするため、通孔を横長状の矩型に形成する。

【0016】また、該通孔を、円形状として該側面の横方向又は、及び上下方向に複数個形成することも可能である。複数個形成する場合、該通孔は該側面の全面に形成することもできるが、全面に形成すると海水、川水等の水や砂を重量物として使用できないことから、該通孔は収納部の下部に水や砂等が流出しない面を残して形成することが好ましい。

【0017】また、該側面に形成する通孔の数は、適宜設定できる。横方向に形成する通孔の数を増やすと、釣竿の左右方向の支持角度を容易に調整することができ、また上下方向の通孔の数を増やすと釣竿の上下方向の傾斜角度を調整することができる。

【0018】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。図1は本発明に係る釣餌支持装置の釣餌支持体の斜視図を、図2は平面図を、図3は側面図を示している。釣餌支持体1は、平板状の基板2と、該基板2の表面から間隔を保持して立設した1対の支柱3、4と、各支柱3、4間に配置された横桿7とを備えている。

【0019】基板2上に立設する該支柱3、4の位置は、適宜設定できるが、本実施例では、該基板2の側縁部に近接した位置に設置している。このように構成すると、立設する支柱3、4の手前に鍾載置用の基板2の

面を広く確保することができ、また、各支柱が側縁部に片寄った位置にあるため、各支柱3、4が釣り動作の邪魔に成らない。

【0020】該支柱3、4間を連結する該横桿7は、該支柱3、4に沿って移動可能に配置されており、両側に設けられた取付ネジ9、9によって適宜位置に固定される。該横桿7の上面には、複数の凹部8で構成される竿受部10が形成されている。該凹部7の形状は、釣竿Rが該横桿7に沿って移動できない形状で有れば、本実施例に示すように円弧状でなくても良い。

【0021】該支柱3の上端部には、平板状の板部材で構成された釣餌載置台5が設置されている。本実施例では該釣餌載置台5には、コマセを収納するコマセ収納器6が配置されているが、投げ釣り等においては、コマセ収納器6に代えて、ゴカイ、ジャリメ等の釣餌類を、該釣餌載置台5の上面に直接あるいは容器に収納して配置すしても良い。また釣餌として切り身を使用する場合は、適宜大きさに切断加工する調製、加工台として利用する。なお、該支柱3に設置する該釣餌載置台5の高さは、釣り人の背丈に応じて調整可能に構成することもできる。

【0022】該支柱4の上部には、プラスチック製の取付桿11が該支柱4に沿って上下自在に配置されており、取付ネジ9により適宜位置に固定される。該取付桿11には、釣り場や漁場を照明する照明装置30を着脱可能に配置する(図5)。使用する該照明装置30は、屋外用として市販されている携帯用で防水加工されたもので有れば何れのものも使用できるが、照射角度を適宜調整可能なものが好ましい。

【0023】また、該取付桿11に配置する照明装置30は、釣り場を照明する照明装置と、漁場を照明する照明装置とを別個に設置しても良く、釣り場の環境に応じて適宜設定できる。なお、取付桿11には、照明装置の他に適宜水に濡れてはいけない物品を適宜係止する用具としても利用できる。

【0024】図4は該基板2の上面に鍾として載置される釣竿支持具20の斜視図を示し、図5は該基板2の上面に該釣竿支持具を載置して使用している状態を示す斜視図である。該釣竿支持具20は、プラスチック製の上面が開口した収納部21を有する容器であり、該収納部21の一側面23には矩形状の通孔22が形成されている。該収納部21には、海水、小石、砂等の重量物を収納して該基板2の上面に載置し該釣餌支持体1を安定な状態とする。

【0025】このように構成された釣餌支持装置を使用する場合、まず、釣竿支持具20の収納部21に海水や川水、池水等の水、もしくは砂、小石等の重量物を収納する。収納する重量物は、釣り場で適宜調達できる物であればいずれでも良いが、海水等の水を収納すると、釣り魚の生け簀水や、釣り餌等で汚れた手を洗う洗い水と

して利用することができる。

【0026】重量物を収納した該釣竿支持具20を該基板2の上面に載置すると、該釣竿支持具20はその重さにより安定した状態で該基板2上に設置され、これに伴い該釣餌支持体1も安定した状態となり各支柱3、4の起立状態は安定化する。次に、例えば、サビキ釣りの場合には、釣餌載置台5にコマセを収納したコマセ収納器6を設置し、常法の従いサビキ針を左右に動かして各針に餌を付け漁場に投入する。

【0027】釣餌載置台5は、基板2から上方に設けられているので、餌付けを腰をかがめた状態で行う必要がないので、足腰に負担をかけることなく行える。釣り糸を連結した釣竿Rの基端部R1を、該収納部21の内側から前記通孔22に挿入すると共に、該基端部R1の先端側を前記横桿7に設けた竿受部10の凹部8に載置する(図5一点鎖線)。この状態では、釣竿Rの重心は竿受部10よりも先端側にあるため、該基端部R1には上向きの力が作用し、該基端部R1の上面は通孔5の内面と強固に係合する。

【0028】このため、釣竿Rが傾斜方向に沿って下方向にずれることがなく、また釣糸が魚や風で引っ張られても該通孔22や竿受部10から外れることがない。また、釣竿支持具1は、その収納部21に重量物が収納されているため、釣竿Rに力が加わっても該基板2からずれることがないため、該釣餌支持体1を安定した状態に維持できる。

【0029】夜釣りの場合や集魚を促す場合には、照明装置30を取付桿9に取付る。該照明装置30は、釣餌載置台を上方から照射するため、夜釣りであっても釣餌の加工、釣針への餌付け作業を円滑に行える。なお、該基板2の上面に載置する重量物として、冷凍されたコマセを海水と共に収納した解凍用バケツを使用することもできる。

【0030】

【発明の効果】請求項1に係る発明によると、釣餌支持体と容器とをコンパクトにまとめて配置することができるため、釣り場を有効に活用できる。また、釣餌支持体

に容器載置用の基板を設けて有るので容器内に重量物を入れることにより、これらの部材を安定した状態で釣り場に設置できる。

【0031】更に、釣餌載置台は支柱の上端部に配置されているため、釣餌の加工や釣針への餌付けを足腰に負担をかけずに確実に行うことができ、また釣餌が波に流されたり、誤って釣餌を散乱させたりすることがない。

【0032】請求項2に係る発明によると、容器に設けた釣竿支持具の通孔を利用することにより確実に釣竿を支持できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】釣餌支持装置における釣餌支持体の斜視図を示す。

【図2】釣餌支持体の側面図を示す。

【図3】釣餌支持体の平面図を示す。

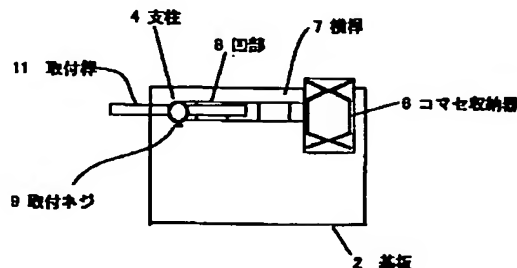
【図4】容器の斜視図を示す。

【図5】釣餌支持装置の使用状態の斜視図を示す。

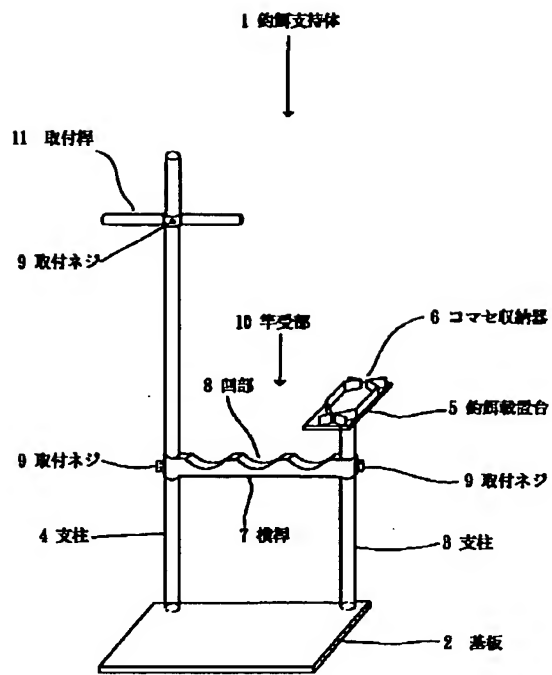
【符号の説明】

- 1 釣餌支持体
- 2 基板
- 3、4 支柱
- 5 釣餌載置台
- 6 コマセ収納器
- 7 横桿
- 8 凹部
- 9 取付ネジ
- 10 竿受部
- 11 取付桿
- 20 容器
- 21 収納部
- 22 通孔
- 23 側板
- 30 照明装置
- R 釣竿
- R1 基端部
- W 重量物

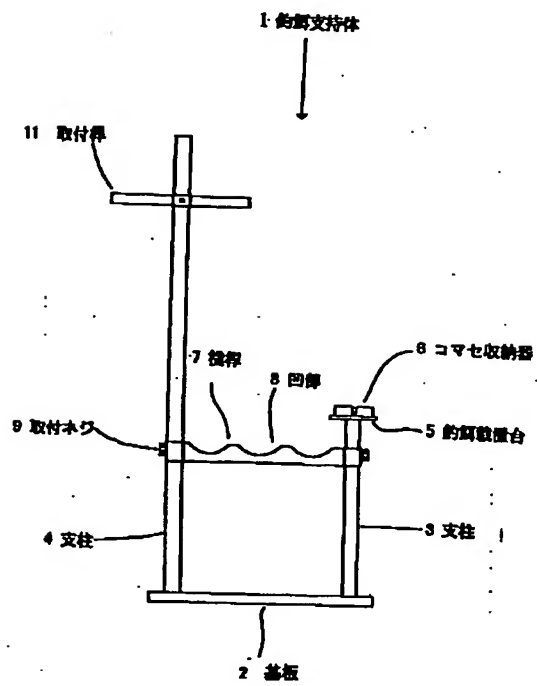
【図2】



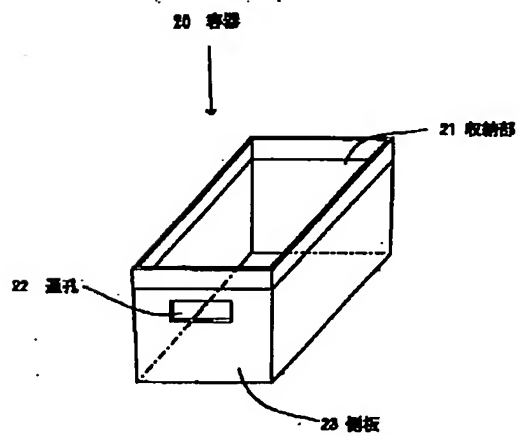
【図1】



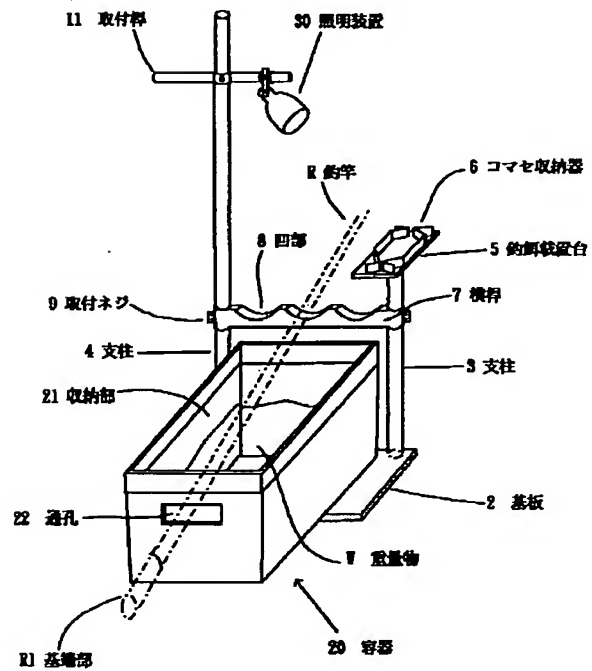
【図3】



【図4】



【図5】



DERWENT-ACC-NO: 2002-036822

DERWENT-WEEK: 200205

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Support device for fishing gear has fish bait storage
which includes base plate and which is supported horizontally on one pillar that stands from corner of container mounting plate

PATENT-ASSIGNEE: YOSHIDA M[YOSHI]

PRIORITY-DATA: 2000JP-0039410 (February 17, 2000)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 2001224292 A	August 21, 2001	N/A
005 A01K 097/04		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2001224292A	N/A	2000JP-0039410
February 17, 2000		

INT-CL (IPC): A01K097/04, A01K097/10

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2001224292A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The container (20) is mountable on a plate (2) upper face to which pillars (3,4) are provided. The fish bait storage (6) which includes a base plate (5) is supported horizontally on one pillar.

USE - For supporting fishing bait storage, container and fish pole.

ADVANTAGE - Enables reliable supporting of hook for fishing bait so as not to scatter fish bait. Enables organized arrangement of fishing gear.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows perspective diagram of the fishing gear support. (Drawing includes non-English language text).

Plate 2

Pillars 3,4

Base plate 5

Fish bait storage 6

Container 20

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/5

TITLE-TERMS: SUPPORT DEVICE FISH GEAR FISH BAIT STORAGE BASE PLATE
SUPPORT

HORIZONTAL ONE PILLAR STAND CORNER CONTAINER MOUNT PLATE

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2002-028382

PAT-NO: JP02001224292A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001224292 A

TITLE: APPARATUS FOR SUPPORTING FISHING BAIT

PUBN-DATE: August 21, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

YOSHIDA, MASAO

COUNTRY

N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

YOSHIDA MASAO

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP2000039410

APPL-DATE: February 17, 2000

INT-CL (IPC): A01K097/04, A01K097/10

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an apparatus for supporting a fishing bait capable of being installed in a compactly collected and stable state of a supporting unit for the fishing bait and a container in a fishing place and surely carrying out the processing of the fishing bait or the attaching of the bait to a fishhook without burdening on legs and loins.

SOLUTION: This apparatus for supporting a fishing bait comprises a fishing bait supporting unit 1 obtained by erecting a support 3 from the surface of a base 2 and installing a fishing bait carrying platform 6 for carrying out the processing of the fishing bait, the attaching of the fishing bait, or the like; to the fishhook at the tip of the support 3 and the container capable of being

placed on the top surface of the base 2.

COPYRIGHT: (C) 2001, JPO